



JEETO NEWS

ジェクト株式会社
No.100 2019 WINTER

2020年に創業100年を迎えます

おかげさまで 創刊100号を迎えました

新年あけましておめでとうございます。

1995年、会社創業50年を機に、社名を川崎組からジェクトに変更いたしました。その際に広報誌「JEETO NEWS」を創刊してから、おかげ様で今回100号を迎えます。お客様への広報だけでなく会社の変遷の記録としても、継続できて嬉しく思います。



代表取締役
市川功一



95号 2017年10月発行
「リフォーム&プランニング・スタジオ」がオープン

・中原工房に隣接した場所にリフォームの提案と賃貸建物の仕様の打ち合わせを行うスペースを設置したことを紹介。

62号 2009年7月発行
チャリティバザー開催
知的障害者の支援グループをサポート
NPO法人「アシスト」支援について紹介。

42号 2004年7月発行
設立60周年記念コンサートを盛大に開催

・2004年5月15日、エポックなかはらで行われた設立60周年記念コンサートの様子を紹介。



1999 (平成11)

22号 1999年4月発行
日本民家園で古民家の修理工事
・茅葺き屋根の全面ふきかえの紹介。

1997 (平成9)

16号 1997年10月発行
高津スポーツセンターが竣工
・安全管理を徹底して無事故・無災害で工期内に完成したことを伝えました。

1996 (平成8)

1995 (平成7)

1号 1995年1月発行

2019 (平成31)

2018 (平成30)

96号 2018年1月発行
「UDEMAYE」を開校
・川崎市の推進事業の一環として小中学生を対象に、中原工房のオリジナルカリキュラムで基本知識、実技・デザインまで学べるプロジェクトを紹介。

2017 (平成29)

2016 (平成28)

2015 (平成27)

2014 (平成26)

90号 2016年7月発行
「ものづくり×縁結び」を開催
・ジェクト初の試み、DIYを通じた婚活イベントを中原工房で開催した様子を紹介。

2013 (平成25)

2012 (平成24)

2011 (平成23)

79号 2013年10月発行
不動産部 武蔵小杉店オープン

2010 (平成22)

2009 (平成21)

78号 2013年7月発行
地域触れ合い感謝デー
「第1回コンクリートまつり」を開催



2006 (平成18)

2005 (平成17)

45号 2005年4月発行
大戸小学校の改築工事が竣工
・明るく親しみやすい学校にというニーズに対応するための工夫などを紹介。

2004 (平成16)

2003 (平成15)

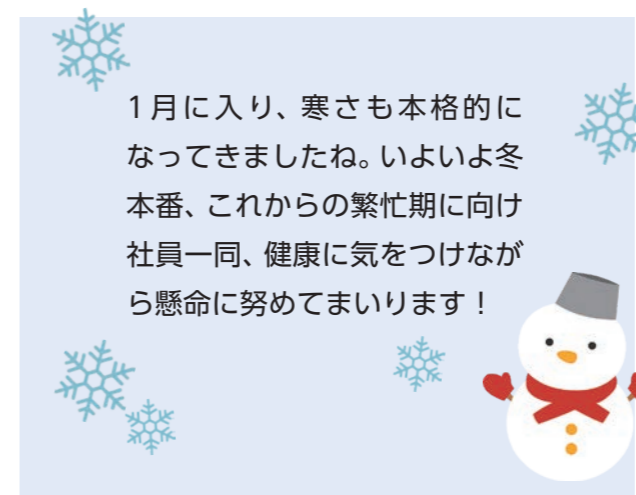
2002 (平成14)

2001 (平成13)

2000 (平成12)



1号はB4判、表面は2色、裏面はモノクロでした



1月に入り、寒さも本格的になってきましたね。いよいよ冬本番、これからの繁忙期に向け社員一同、健康に気をつけながら懸命に努めてまいります！

ジェクト不動産部

かわらばん 2019 冬号

賃貸管理におけるよくあるご相談・お悩みごとの事例

日々賃貸のお部屋に関するご相談・お悩みが寄せられております。弊社では内容に合わせて、業者様の手配から各住居ポストへ注意文の投函や掲示、該当入居者様へ個別の聞き取り・ご相談を承るなどの対応を行っております。今回はその中でもお問い合わせの多い事例をご紹介します。

鍵をなくした・落としてしまった

弊社で予備の鍵を保管している場合、一時的に貸し出す、鍵を業者へ発注し作成させていただく場合もあります。

ゴミの指定日時や場所を守らない

決められた日以外にゴミを出されると異臭の原因にもなります。また決められた場所以外へのゴミ出しは他の方へ迷惑を掛けてしまいます。

蜂や鳩が巣を作っている

寒い季節では比較的小まめな問い合わせは少なくなりますが、春から夏にかけて特に多いお問い合わせになります。

深夜・早朝に足音や話し声が聞こえて困っている

入居者様から非常に多くのご相談が寄せられるお悩み事でもあります。管理会社が入居者様同士の話を伺うなどの調整をさせていただき事例もご紹介します。

共用部の扉が開けばなしに…

ドアの故障以外にも時折共用部エントランスのドアを開けたままその場を長時間離れてしまう方がおられます。入居者様や管理会社など関係者以外の方の出入りが可能となってしまいます。

相続勉強会・2019年開催のお知らせ

大変ご好評いただきました相続勉強会ですが、本年も2018年と同様の内容で開催を予定しております(詳細は別紙参照)。少しでもご興味のある方、ご参加お待ちしております。

〈開催概要〉
 時間：各回13:30～15:30
 定員：各コース6組(申込先着順)
 参加費：各回1,000円
 会場：ジェクト本社6階

〈コース日程〉

【木曜コース】	【土曜コース】
ステップ① 2019年1月17日(木)	1月19日(土)
ステップ② 2019年2月21日(木)	2月23日(土)
ステップ③ 2019年3月14日(木)	3月16日(土)
ステップ④ 2019年4月18日(木)	4月20日(土)
ステップ⑤ 2019年5月16日(木)	5月18日(土)

〈お問い合わせ・お申込み〉
 電話：044-755-1818 FAX:044-751-7553
 E-mail:t-kawasaki@jecto.co.jp ホームページ：http://fudousan-souzoku.info

参加者様からのご意見・ご感想

50代参加者様
 自分の周りでも相続の話が出るようになり、勉強したいと思って参加しました。具体例を出して話してくれるから分かりやすかったです。

30代参加者様
 親の年齢を考えるとそろそろ勉強しなきゃと思い、相続に関する最初の導入としてよかったと思います。

40代参加者様
 相続税の全般を知ることができました。今後は具体的に個別相談したいと思いました。

「廃材市」を開催



端材・廃材コーナーで材料を選ぶ来場者。お客様との会話もはずみました

2018年11月17日、下新城資材倉庫・中原工房で「廃材市」を開催し、約250人の方が来場されました。廃材市では木材、タイル、床材、壁紙などを安価で販売。工事部スタッフや新入社員は、使用方法や注意点などの説明を



地元で人気のお店にも出店いただきました(KOSUGI CURRY 様)



地域名産品の販売コーナー

通じ、お客様とコミュニケーションをとる良い機会となりました。今回の収益は、川崎市立高等学校定時制教育振興会に寄付いたしました。中原工房スタジオオプスでは、これまでのワークショップの作品展示や、床材を使った鍋敷きのワークショップを開きました。また、地元で人気のお店に出店してもらったり、地域名産品の販売コーナーも大盛況でした。

欧州視察旅行を開催

2018年9月4日から12日にかけて、ジェクト企画・主催のスペイン、フランスの建築視察旅行を開催し、総勢21名の方に参加いただきました。



サグラダ・ファミリア教会



サヴォア邸

スペインでは、ガウディの代表作サグラダ・ファミリア教会、ゲエル公園をはじめ、モダニズム建築のサンパウ病院やダリ・卯



パリのエッフェル塔を背景に集合写真

の家、ダリ劇場美術館などを見学しました。フランスでは、ポンピドゥー・センター、ルイ・ヴィトン財団美術館を見学後、ル・コルビュジエのサヴォア邸、ロンシャン礼拝堂、ブラジル学生会館などを見学しました。

20世紀を代表する名建築物を訪ねることができ、参加者の皆さんにも満足いただけただけとなりました。

川崎市立下小田中小学校の 新校舎工事現場の見学会を開催

2018年12月10日、下小田小学校新校舎の工事現場見学会を開催しました。今回対象となったのは6年生総勢133人。新校舎の完成は今年3月15日ですが翌16日が卒業式という6年生は、新校舎で学ぶ期間がありません。そこで、ジェクトから学校へ見学会開催をご提案したところ、快諾いただきました。



生徒さんには、注意事項を説明し、終了後は皆さんの質問が飛び交いました

工事中にもかかわらず、よく観察していました

ジェクトとして学校工事現場の見学会は初の試みとなり、見学会は安全第一で行われ、現場監督はじめ7人に対応しました。1階から屋上まで案内、解説した後、生徒さんから墨出しや天

井の軽量鉄骨造などについての質問があり、隅々までよく観察してくれたことが印象的でした。

また、建設に関わる業種や職人の人数など、現場管理にかかわる質問もあり、職人が当日で約100人、累計で1万人ほどになるということには驚いていました。普段は目に見えない内部構造や、現場の雰囲気を感じてもらえる良い機会となりました。



屋上プールの工事の様子に興味津々

ジェクトニュースNo.99

当選番号

※前号をご確認ください

下2ケタ

「07」「33」「54」「58」「59」「65」「67」「95」

当選番号と引き換えに「ジェクトオリジナルクオカード」をプレゼントします。引き換え方法は、ジェクト株式会社企画営業部へお問い合わせください。本号をもって抽選くじは終了となります。TEL 044-755-2525

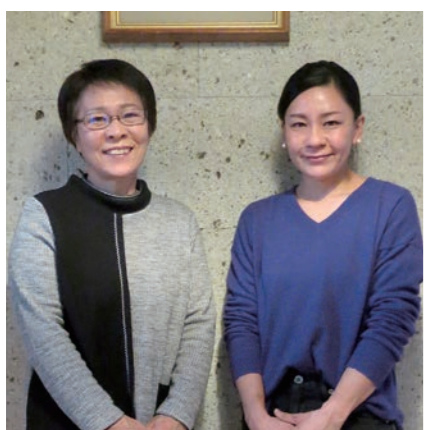
オーナー様訪問 その88

人が出入りする家はつぶれない 父の言葉を胸に 家づくりの幸福味わう

松原数子様

初めての設計体験で開眼

『JECTO NEWS』32号の「オーナー様訪問」にご登場いただいた松原正作さん(2012年ご逝去)の長女・数子さんは、1997年頃からお父様を補佐しながら不動産管理の実務に携わり、現在は賃貸共同住宅4棟と駐車場を管理する。松原家の最初の不動産物件は、1993年に建てた「キャッスル松原」。続いて2002年には「シュロス松原」を完工した。父正作さんから託された物件

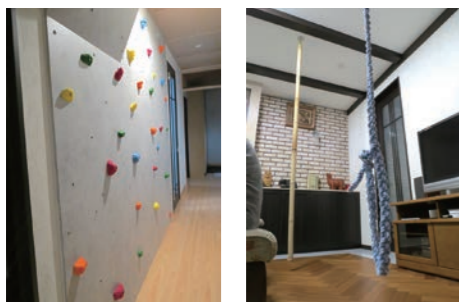


松原数子さん(左)、三女の実咲さん

だった。「建てるなら茶系にはしたくなくかった」と、数子さんが選んだのは、外装としてはちよつと珍しい深緑色のタイル。さらにこだわったのは屋根だ。「父は切妻型の屋根に憧れていました。私はそのことをずっと覚えていましたので、設計図で陸屋根だったのをジェクトさんに相談して変更してもらいました。私にとって初めての物件で、もちろん不安はありましたが、父に信用されたことがとても嬉しかったですね」建設にあたって数子さんが心掛けたことは「居心地の良い住まいを実現すること」。収納スペースにこだわり、使いやすいクローゼットを設計した。階段の溝の掃除のしやすさ、エントランスの隅にほこりがたまらないような設計など、一つ一つは小さいことだが、日常生活において大切なことに気を配った。出来上がって、入居者の様子を観察している



2018年1月に竣工したご自宅



ボルダリング仕様の廊下

手作りの遊具



2014年に竣工したカステリーノ

と、玄関に設置したベンチが使われていないことに気が付いた。せっかくのファミリータイプなのだからと、ペビーカーを置くスペースを確保する改修工事を行った。女性・主婦・母目線をフル活用した家づくりは、いたるところに思いやりと愛情があふれている。

孫の笑顔を思い描いて自宅新築

その真骨頂ともいえるのが、2018年1月に竣工したご自宅だろう。「以前から改築を考えてきたのですが、

孫たちも増えてきたので、家族の集いの場となる住宅を新築しました。二世帯住宅の設計には数子さんの三女実咲さんも参加した。安全安心、楽しい暮らしのために母娘で一致したのは「免震構造」を取り入れることだった。「孫たちの成長を見守ること、笑顔を見ることが何よりの幸せ」と数子さん。家の中にはお孫さんたちが遊べる工夫を随所に凝らした。クローゼットはロフト構造でかくれんぼができ、廊下の壁面はボルダリング仕様、リビングルームの天井からは遊具のロープや竹竿を吊るせるように強度をつけた。ロープはホームセンターで買ってきて、自ら手よりして取り付けた。竹竿も電気ドリルを使った手作りだ。「修理に来る職人さんの作業をじつと見ているのが好き」と笑う。「父は人が来ない家はつぶれると言っていました。私はその言葉を守り、家族をはじめ訪れる人が気持ちよく出入りできる家をつくれたと思います。また、代々引き継がれたものはなくさないように守っていくためにも娘には、家の建て方、図面の読み方を教える良い機会になりました。手さぐりで不動産管理を学んできましたが、その苦労は娘にはさせたくありません。そういった意味でもジェクトさんとの信頼関係がこれからも末永く続いていくことを願っています」家族旅行が恒例行事の松原家だが、昨年は初めて孫娘との二人旅を楽しんだと、数子さんは顔をほころばせた。父から託された不動産管理に努めながら、おばあちゃん人生をエンジョイする毎日だ。